

「指示詞＋名詞」構文による感情・評価表現の中日対照 －「そんな」、「这种/那种」を中心に－

陳曦
牛迎春

DOI: 10.18999/stul.32.79

1. はじめに

日本語の「そんな」や中国語の“这种/那种”は、名詞を修飾し、指示対象に対する話し手の感情・評価を表す場合がある。例えば、例(1)において、話し手は「そんな人、那种人」を用い、指示対象を軽蔑するニュアンス、すなわちマイナス的な感情・評価的意味を表している。

- (1) a. 変でしょう、そんな人にウイスキーなんて！上げるならお金の方がいいでしょう。
b. 那不合适吧？那种人送什么威士忌！送的话，就送钱好了。

(井上靖、『あした来る人』)¹

しかし、話し手の感情・評価的意味が見られる例(2)においては、「そんな」が用いられるのに対し、“这种/那种”を使用したことで、その許容度が落ちる。つまり、感情・評価的意味を表す「指示詞＋名詞」は、場合によっては中国語と日本語の使用制約が異なっていることが認められる。

- (2) a. 杏子はそんな梶が好きだった。

- b. 杏子喜欢{*这种/*那种}梶。²

(井上靖、『あした来る人』)

¹ 北京日本語研究センターが開発した中日対訳コーパス(2002,2003版)による例文である。本稿では、作家と作品名で表記する例文はこのコーパスから収集したものである。以下同様。

² コーパスから、“杏子喜欢梶的这种态度。(林少华,《情系明天》)”は例(2a)と対応している例文である。

このように、同じ感情・評価的意味を表す「指示詞(そんな、这种/那种) + 名詞」構文が、それぞれ一致したり、ずれが生じ現象について、どのように解釈すればよいだろうか。本研究では「そんな」、「这种/那种」のような指示詞に関する指示詞句構文を中心に、感情・評価的意味を表す場合の中国語と日本語の共通点と相違点を明らかにしたい。

なお、議論の便宜上、本研究は例(1)(2)のような「指示詞 + 名詞」構文を「DN」構文と称する。また、日本語「DN」構文か、中国語「DN」構文か、どちらかのみ論述する場合を「D_{そんな}N」構文、「D_{这种}N」構文とそれぞれ称する。

2. 先行研究

中日両言語において感情・評価的意味を表す「DN」構文は「そんな」、「这种」を中心に検討すると限られていない。多くの研究では、「この・その・あの」、「这个/那个」をはじめ、「DN」構文が主観的評価意味を持っていると考察している(张伯江 2010, 池田 2012, 白晓光 2016 など)。白晓光(2016)は「文脈において活性化された指示対象の属性特徴にある」ため、「DN」構文が感情・評価的意味が含まれていると指摘している。一方、例(1)(2)にある「そんな、这种/那种」など属性を表す典型的な指示詞は元々中日両言語とも存在している。このような指示詞を含む中日両言語における、感情・評価的意味のしくみはどうであろうか。また指示詞の意味機能は変わるのか。

本研究は上述した先行研究を踏まえ、感情・評価的意味が観察される表現、特にマイナス評価を表す「DN」構文に着目し、認知的観点より中日両言語を対照したい。

3. 理論と方法

3.1 主観性理論

我々は言語行為者として自らの観点や気持ちを表に出す際、現実生活におけるある場面に評価的な表現を用いることがよくあり、話し手はしばしば自己の予測が帯びている。言語として表現する場合、何らかの特定した構文を選び、現実生活のある場面および心理的予測から比較した結果を表すとされている。故に、話し手の主観的判断をも読み取れる。

张伯江(2010)は言語主観性の「感情移入」観点を切り口に、指示詞句における主観的評価から観察される現象による関連性モデルを示した。白晓光(2016)は张伯江(2010)の主

張と異なっており、指示詞句構文が主観的評価意味を持っているのは、文脈において活性化された指示対象の属性特徴にあると位置付けた。しかし、「話し手の感情」の観点から、文中において感情・評価的意味を表すことは「DN」構文のみに関連しているのだろうか。

- (3) a. 假如有机会多认识她，你也许会发现她态度从容，辩才无碍，言谈之际，意
暖神寒。这种女人，你一生至多遇见一两次，也许一次都遇不见。
- b. もしよく見知る機会があれば、気づくだろう。態度は落ち着いていて弁舌はよど
みなく、話す表情は冷静であるが心は温かい。このような女のひとには、一生のう
ち一度か二度しか出会えない。あるいは一度も出会えないかもしれない！
(谢冰心,《关于女人》)
- (4) a. 真的，我见着没爹妈的人，就觉着可怜，我知道这种人过日子的滋味。
- b. ほんとに、親のない人を見ると、かわいそうな、そんな人の苦しみはよくわか
るわ。
(浩然,《金光大道》)
- (5) a. “真是拖累煞人！”四爷将手在桌上轻轻一拍，“这种子孙，真该死呵！唉！”
- b. 「はた迷惑もいいとこだ」四旦那はテーブルを軽くトンとたたいた。「こんな子孫
は、生かしちゃおけない。いやはや」
(鲁迅,《彷徨》)

例(3)～(5)に関して、例(5)は、例(4)に比べ、感情・評価的意味が明らかにされている。また、属性を表す“这种”が含まれているため、“这种女人、这种人、这种子孙”の文は主観的評価を読み取れるわけではないといえる。

「理想化認知モデル (Idealized Cognitive Model)」は Lakoff (1987) から始まったといえる。この定義は「我々がある社会・文化のなかで、対象を特徴づけたり、意味を概念化する際に利用する、ごく普通の平均的な状態を基に組織化された知識構造をモデル化したもの」(河上 1996:211)である。

鈴木(2006、2008)は理想化認知モデルに基づき、「D そんな N」構文の基本的機能とその特徴表現を明らかにした。本研究は鈴木(2006)を対照にしながら、まず「D 这种 N」構文の機能を明らかにしたい。また、話し手の「予測性」および「望ましさ」の観点から、理想化認知モデルに基づき、「そんな」と“这种”に着目し、例(3)～(5)より「DN」構文の特徴を考察する。さらに、「主観性」に関する理論に基づき、「DN」構文にみられる感情・評価的意味を表す特徴表現の相違を解釈することに努める。

3.2 研究方法

中日対訳コーパスにおける対訳小説から、属性特徴表現「DN」構文を収集し、本研究のデータベースとして調査を行う³。今回は属性特徴を相対的、且つ、典型的な指示詞「そんな、这种」⁴を中心に、日中対訳データから「D_{そんな}N」構文、中日対訳データから「D_{这种}N」構文の用例を主な調査対象とする。調査手順は次のとおりである。

- I. 鈴木(2006)を踏まえ、感情・評価意味を表す中日両言語の特徴表現を次のように3分類する。

特徴表現一: D+形容詞+N

特徴表現二: D+N_{人間名詞}

特徴表現三: D+N_{事物名詞}

- II. 事態のあり方の可能性を「予測性」、「望ましさ」の観点から、次の6類に分ける。

類型一: 事態が話し手の予測通りに進行・展開し、その事態内容は望ましい。

類型二: 事態が話し手の予測通りに進行・展開するが、その事態内容は望ましさに関してはどちらでもない。

類型三: 事態が話し手の予測通りに進行・展開するが、その事態内容は望ましくない。

類型四: 事態が話し手の予測に反して進行・展開するが、その事態内容は望ましい。

類型五: 事態が話し手の予測に反して進行・展開するが、その事態内容は望ましさに関してはどちらでもない。

類型六: 事態が話し手の予測に反して進行・展開し、その事態内容は望ましくない。

- III. 次の(6)の理想化認知モデルに基づき、「DN」構文の特徴を考察する。すなわち、理想化認知モデルと一致している場合、一致していない場合に分け、「予測性」「望ましさ」

³ 今回調査資料はコーパスの中日対訳小説計 22 冊、日中対訳小説計 22 冊とする。

⁴ 本研究は議論の混乱を避けるため、「コ」系・「ア」系指示詞、または「那」系指示詞は考察の対象外とすることを予め断っておきたい。議論にあたっては、「そんな、这种」系列と類似している「そのような」・「そういう(そういう)」・「这么个(这么些)」・「这样的」も適宜、触れていく。

観点による中国語と日本語の性格を考察していく。

(6) 理想化認知モデル(鈴木 2008:41)

事態のあり方に関する理想化認知モデル:

- a. 事態は通常、話者の予測通りに進行・展開する。
- b. 事態は望ましい内容のものであることが、好まれる。

4. 感情・評価意味を表す「D_{这种}N」構文

4.1 「D_{这种}N」構文の基本的機能

感情・評価意味を表す「D_{这种}N」構文はしばしば「这种+形容詞+N」として言語化される傾向にある。

- (7) 除了他, 谁能干出这种缺德的事儿呀! (浩然,《金光大道》)
- (8) 在他的心目中, 他一贯的认识是, 蹂躏青年人的情感是最凶险最卑劣最残酷的恶行。凡是犯有这种恶行的人, 应该杀掉! (王蒙,《活动变人形》)
- (9) 这种年、资两匮的作者, 居然还被各地请来请去, 坐飞机, 住宾馆, 发表演说, 游山逛水, 甚而派往国外, 扬名他洲... (劉心武,《钟鼓楼》)

例(7)～(9)においては、“缺德的、恶行的、年资两匮的”のような否定的意味合いを持つ形容詞(相当表現)が含まれている。さらに、否定的な意味合いを持たない形容詞の用例も挙げられる。

- (10) 这一会儿, 我觉得怎样也表达不尽我这种欢乐的心情, 就象在一个黑暗的丛林里走了很久, 突然看见了一片阳光和鲜花, 什么都充满光明, 什么都溢满色彩, 过去盼望、期待、渴求、幻想的一切, 变成了五彩缤纷的花环, 在我眼前旋转着, 压抑了很久的感情全部从我的胸腔里喷发出来。
(张海迪,《轮椅上的梦》)
- (11) 许宁被道静这种纯挚的友好的态度感动了, 他望着她, 像对一个知心的朋友说起他心里的事。
(楊沫,《青春之歌》)

(12) 王晓燕被她朋友这种大胆热烈的精神感动了。 (楊沫,《青春之歌》)

例(10)～(12)の“快乐的、纯挚的友好的、大胆热烈的”は否定的な意味合いではないが、感情・評価意味を表す“这种N”にも用いられる。例(7)～(12)では、「D_{这种}N」の働きは先行文脈において述べられたところの性質・特徴が、なんらかのより一般化された概念としてまとめあげられようとする働きが見られる。つまり、例(8)で示すように、“这种人”は、先行文脈で述べられている通り、“蹂躞青年人的情感”という性質・特徴を持つ人である。その性質・特徴が単にそこで示されるだけではなく、また、単に先行文脈を一つの例として示すでもない。一般化された上位概念が活性化されているのである。

「D_{这种}N」構文との類似表現に「D_{这样}N」構文、「D_{这么}N」構文がある。しかし、「D_{这种}N」とは異なり、「D_{这样}N」は、先行文脈で述べられている事項を一つの「例」として取り上げる働きがある。

(13) 父亲对我说过,任副官八成是个共产党,除了共产党里,很难找{这样的/?这种}
纯种好汉。 (莫言,《红高粱》)

例(13)に示すように、先行文脈で示している“任副官”は“纯种好汉”の一例である。しかし、例示することは、必然的にそれを一つの事例として含む上位カテゴリーを暗示することにつながる。そのため、「D_{这样(的)}N」は何らかの一般化された上位概念がそこに副次的に示されるということである。従って、“这样的”を“这种”に変換すると、やや不自然に感じられる。

また、「D_{这种}N」の先行文脈で述べられた性質・特徴を上位概念として集合化される働きだが、「D_{这么}N」がその典型的なものであるとは考えにくい。

(14) 余永泽觉得很幸福。能够把这么个不易驯服的女孩子征服了,能够得到这么一
个年轻、漂亮的爱人,他是多么高兴啊。 (楊沫,《青春之歌》)

(15) 而面对这么些探究的眼光,拾来更与人接近不了啦。他成天价唬着个脸,叫人
见了害怕,岂不知他心里是害怕人的。 (王安憶,《小鲍庄》)

一般的に「D_{这么}N」は、例(14)のように先行文脈において述べた性質・特徴が「D_{这么(一)个}

N]として用いられ、具体的・個別性そのまま引き上げられる。または、例(15)のように、「D_{这么多些}N]として用いられ、複数の事例を個々に取り上げる用法が挙げられる。従って、例(16)では、“这么个”を“这种”に変換するならば、その許容度は下がる。

- (16) 余永泽觉得很幸福。能够把这么个不易驯服的女孩子征服了，能够得到{这么一个/??这种}年轻、漂亮的爱人，他是多么高兴啊。 (例(14)を再掲)

4.2 「D_{这种}N」の特徴的な表現

この節では、§3.2 で述べた特徴表現①②③の順で考察を行う。第一に、特徴表現①、すなわち N が「形容詞＋名詞(句)」の場合である。『中日対訳コーパス』(2002,2003 版)から調査した結果、“这种 {没屁眼儿的/鸡毛蒜皮的/缺德的/倒楣的/危险的} 事儿”のように、否定的な意味合いを持つ形容詞を伴う。感情・評価の意味が表される例が多い上、“这种 {愚才/浆糊/害群之马/坏人怪物/痞子/邪祟}”のように N が形容詞を含まず、「罵り語・貶義名詞」である場合も少なくない。このような「D_{这种}N」構文はほぼ否定的な感情・評価意味として表されている。

- (17) 张秀藻对爸爸妈妈这种一本正经的议论并不怎么感兴趣。
(劉心武,《钟鼓楼》)
- (18) 倘若他们团里那些搞舞台美术的同志, 也能有这种刻意求精的精神, 那该多好哇!
(劉心武,《钟鼓楼》)

例(17)のように、形容詞自体が否定的な意味合いを持たなくとも、話し手自身を何らかの意味で価値・意味がないものと捉えている例もある。さらに、例(18)においては、形容詞自体が肯定的な意味合いを持つとはいえ、話し手の事態が予測に反するものとして捉えている例もある。

第二に、特徴表現②、すなわち N は“人、女人、子孙”など、人間関係を表す名詞、すなわち「人間名詞」の場合である。

- (19) 这种人真讨厌。你不理她吧, 她上赶着跟你热乎。你搭理她吧, 她没完没了, 得寸进尺, 还查核人!
(王蒙,《活动变人形》)

(20) 这种人平时看起来是个好人，可是一遇到适当的气候就要兴风作浪的。

(戴厚英,《人啊,人》)

(21) 干脆叫辆出租汽车吧。这个老傅，办的什么事！出国任务他都敢给你耽误，还说给安排房子哩！这种人！

(劉心武,《钟鼓楼》)

例(19)では“这种人”はマイナス評価を表す表現“真讨厌”と生起している。例(20)の複文は逆接を表す“可是”で繋がっており、“这种人”の否定的な感情・評価的意味“兴风作浪”という属性が表出されている。また、例(21)が示すように、“这种人！”を用いることで、感情・評価的意味が強く感じられる。

(22) 我说罗雄纯真得像水晶，又热烈得像火，忠诚坦白，是他最大的特点，对党的信念坚定不移，又使他具有惊人的毅力。他没有权位观念，没有个人野心，这种人我认为是很难得的。

(鲁彦周,《天云山传奇》)

例(19)~(21)の「D 这种 N」構文においては、否定的な感情・評価意味が読み取れるが、例(22)のような肯定的な感情・評価意味を表す場合もある。

第三に、特徴表現③、N は事物名詞の場合である。例(23)は否定的な感情・評価意味合いもあるが、例(24)は特に否定意味合いではない。

(23) 刚才我去看过了，还没好。阿姨年纪大了，手脚越来越慢了。花那么多的钱雇这样的阿姨，只有我们这种傻瓜才干这种事！

(戴厚英,《人啊,人》)

(24) 王一生笑嘻嘻地说：“世界上还有这种东西？苦甜苦甜的。”

(阿城,《棋王》)

以上考察した「D 这种 N」構文の特徴表現をまとめてみると、次の3点である。

- 1) 特徴表現①②③はほぼ感情・評価意味が読み取れる。さらに、「N」が否定的な意味合いを表す場合、否定的な意味合いが表されていない場合、いずれの場合も存在している。
- 2) 「D 这种 N」構文に見られる否定的な感情・評価的意味は、特徴表現②③より、特徴表

現①の場合が圧倒的に多い。

- 3) 「N」が否定的意味合いを表す場合、「D_{这种}N」構文ではほぼ感情・評価意味で表されている。しかし、「N」が否定的意味合いを表していない場合、「D_{这种}N」構文の感情・評価意味の有無は文脈によるものである。

5. 「DN」構文の中日対照

5.1 「理想化認知モデル」による中日特徴表現

鈴木(2008)は「そんな」が「理想化認知モデル」と合致した文脈で用いるのは適切ではないのに対し、合致しない場合では矛盾なく用いることができると指摘している。

- (25) a. 予想どおり、(立派な)賞をもらうことができた。
b. ?予想どおり、そんな(立派な)賞をもらうことができた。
(26) a. そんなひどい結果になるとは、想像もしていなかった。
b. 思いかけずそんなことまでいただいて、感激です。

(鈴木 2008:34-36)

すなわち、例(25)のように、話し手に対して、事態の内容は予想どおり、または望ましくないとは言えない場合、「そんな」は使いにくい。また、例(26)のように、事態内容が予想どおりではない場合、「そんな」は難なく使うことができる。

“这种”も「そんな」と同様に、「理想化認知モデル」と合致する場合で用いるのは適切ではないのに対し、合致しない場合では矛盾なく用いることができる。例えば、例(25)~(26)の日本語に対応するものとして、例(27)が挙げられる。

- (27) a. ?跟我预料的一样，我得到了这种优秀奖。
b. 事情发展到这种结果，也是我始料未及的。
c. 真没想到你能为我做这种事，太感动了。

鈴木(2008:30-32)は「予測性」の観点から、話し手の感情・評価的意味が読み取れるのは「予測通りではない」場合であるが、「望ましさ」の観点から、否定的な感情・評価的意味

を表出すると指摘している。この節の考察より、中国語も日本語も「DN」構文が用いられる場合、多少感情・評価意味が含まれている。特に否定的な感情・評価意味を表す場合、両言語の使用傾向が非常に近いといえる。例として、中日両言語における以下の事態類型⁵がいずれも存在している。

(一) 事態類型①A、①B

(28) 她很满意谭静这副吃惊的表情，她所期待的就是谭静这种情不自禁流露出来的意外的惊喜。 (劉心武,《钟鼓楼》)

(29) 法事にゆけば、お布施、菓子、そんなものを袂か頭陀袋に入れてかならず土産に帰ってきたから、行先をうたがうわけにゆかない。
(水上勉,『雁の寺』)

(二) 事態類型①C

(30) 除了他，谁能干出这种缺德的事儿呀！ (浩然,《金光大道》)

(31) お母さまは、マスクに限らず、眼帯でも、眼鏡でも、お顔にそんなものを付ける事は大きらいだった筈である。
(太宰治,『斜陽』)

(三) 事態類型②A

(32) 倘若他们团里那些搞舞台美术的同志，也能有这种刻意求精的精神那该多好哇！
(浩然,《钟鼓楼》)

(33) 新聞がそんなものなら、一日も早く打つ潰してしまった方が、われわれの利益だろう。
(夏目漱石,『坊ちゃん』)

(四) 事態類型②B

⁵ 以下、議論の便宜上、話し手は「予測性」観点から「予測通り」を①、「予測通りではなく」を②、「望ましさ」の観点から事態の内容に「望ましい」をA、「望ましさに関してはどちらでもない」をB、「望ましくない」をCに表記する。従って、予測性は①と②、事態内容に対する望ましさはA・B・C、類型は①A、①B、①C、②A、②B、②Cとなる。

- (34) 当她走进那条胡同时，她不禁有些惊讶，原来北京不尽是那么宏伟壮丽，也有这种狭窄、灰暗的地方。
(浩然,《钟鼓楼》)
- (35) 僕らは物干し場からきらきらと光る家々の屋根や煙や赤とんぼやそんなものをずっと眺めていて、あたたかくて親密な気分になっていて、そのことを何かのかたちで残しておきたいと無意識に考えていたのだろう。
(村上春樹,『ノルウェイの森』)

(五) 事態類型②C

- (36) 她自己也有时惊异自己小小年纪怎么竟有了这种可怕的衰老的心境。
(楊沫,《青春之歌》)
- (37) 変でしょう、そんな人にウイスキーなんて！上げるならお金の方がいいでしょう。
(井上靖,『あした来る人』)

ところで、「DN」構文が感情・評価的意味を表す際、類似する特徴を持つ。すなわち特徴表現①「D+形容詞+N」と特徴表現③「D+N_{事物名詞}」は、「DN」構文の使用傾向が近い。

- (38) a. 私にはそんな不人情な事は出来ません(我不能干这种不近人情的事。)
(夏目漱石,『坊ちゃん』)
- b. 除了他，谁能干出这种缺德的事儿呀！（あの人ぐらいしか。そんなバカなことする人いないでしょ！）
(浩然,《金光大道》)
- (39) a. そんなこまめな仕事は、三沢がうまいんですよ(这种细活，是三泽的拿手好戏)
(井上靖,『あした来る人』)
- b. 显然，江华也被她这种热情的理想以及林红的事迹感动了。(聞いている江華も、かの女のこのような理想に対する情熱と、林紅の物語りに、あきらかに心をうたれたようだった。)
(楊沫,《青春之歌》)
- (40) a. そんな暢気な考え方は現代には通用しない。(这种消遥自在的想法在现代社会中是行不通的。)
(石川達三,『青春の蹉跎』)

b. 她对穿这种素色衣服结婚觉得遗憾和压抑。但为了倪吾诚,她愿意委屈自己。
(木綿の上着と黒のスカートという学生服、こんな地味な色の服で結婚するなんて残念でつまらない。でも、これも夫のためと観念もした。)

(王蒙,《活动变人形》)

(41) a. 普通のものがそんな発狂者を見たって、それほど深い同情は起らないね。(一般人见到这种疯子,是不会产生很深的同情心的。)

(島崎藤村,『破戒』)

b. 怎么对付这种浆糊,真是一个棘手的问题。我是想不出什么办法的。(この「糊」にどう対処するかは、まったくやっかいな問題だ。おれにはなんの思案も浮かばない。)

(戴厚英,《人啊,人》)

例(38)～(41)は感情・評価的意味が見受けられる中日両言語の特徴表現②である。例(38)では「そんな不人情な事、这种缺德的事儿」という否定的な意味合いを表す形容詞が含まれている。しかし、例(39)は「そんなこまめな仕事、这种热情的理想」という否定的な意味合いが表されていない形容詞を含んでいる。また、例(40)では「そんな暢気な考え方、这种素色衣服」という否定的な意味合いが表されていない。しかし、「現代には通用しない、觉得遗憾和压抑」という話し手が事態の内容に予測通りではないかを表す表現が含まれているため、文全体を否定的な感情・評価的意味としていることが読み取れる。

(42) a. そう言えばまあそれまでだが、しかし万一そんなことが有るとすれば、どういう結果に成って行くものだろう——僕は考えたばかりでも恐いような気がする(你要那么说嘛,我就不好往下说了。不过,万一真有这种事,将会造成怎样的后果呢?真是连想都不敢想啊!)

(島崎藤村,『破戒』)

b. “小嫂子!”我感到惊奇,瞪大了眼睛,“这是真的?”我不敢相信会有这种事,“她看起来还是个孩子呢。”(「ちい奥さん!」そんなことが本当にあるのだろうか?「まだ子どもみたいじゃないの」)

(张海迪,《轮椅上的梦》)

(43) a. 冗談に決まってるでしょう、そんなこと。あなたってかわいいわねえ。そう思わない、直子?(当然是开玩笑嘛,这种话。你这人倒满可爱的,是吧,直子?)

(村上春樹,『ノルウェイの森』)

b. 他一边翻看着识字课本上的插图，一边似听非听，可是越听越烦，越听越不以为然，一摆大手说：“你们这些没志气的家伙，都给我住嘴吧！从自己嘴里说出这种话，本身就够丢人了！”(かれは字を覚えるための読本のさし絵に目を通しながら、聞かぬともつかずでいたのだが、だんだんともどかしくなり、ついには承知できなくなって手をふった。「この根性なしどもが、いい加減にしろよ。自分の口からノメノメとそんなこと言うなんて、みっともねえ話だ」)

(浩然,《金光大道》)

一方、例(42)～(43)は感情・評価的意味に見られる特徴表現③である。例(42)は「考えたばかりでも恐いような気がする(感到惊奇, 瞪大了眼睛)」という「意外、信じられない」のニュアンスが感じられる。また、例(43a)は「冗談に決まってるでしょう」という表現が用いられ、話し手は聞き手に対して軽い嘲笑のニュアンスを含んでいる。さらに、例(43b)は“都给我住嘴吧!”、“够丢人了。”などの強く責める表現から、話し手は否定的な感情・評価的意味を表出している。

ところで、「DN」構文の特徴表現②「D+N_{人間名詞}」では、中国語と日本語が一致、または一致しない表現が見られる。

まず、Nの性質について、中日両言語では「人、人間、女人」などの名詞が「DN」構文に用いられる。

(44) a. 此方でいくら思っても、向うが内心他の人に愛の眼を注いでいるならば、私はそんな女と一所になるのは厭なのです。(无论我怎样翻来复去地思索，如果对方向她意中的别人暗送秋波，我是不愿意同这种女人在一起的。)

(夏目漱石,『ころ』)

b. 谁不知道，她是报社里的风流人物，革委会的工人委员。她结婚很晚，可是打胎很早。我怎么会看上这种人？然而，她却成了我的妻子！（彼女はだれ知らぬ者のない社内の発展家で、革命委員会の労働者委員。結婚は遅かったが、墮胎経験は早かった。おれがどうしてそんな女を好いたりするものか。しかし、ほかならぬその女がおれの妻になったのだ!)

(戴厚英,《人啊,人》)

例(44)において、「そんな女、这种女人」が用いられ、感情・評価的意味が読み取れる。例(44a)では事態の内容が話し手の望ましくないものである。また、例(44b)では事態の内容は話し手の予測に外れている。

しかし、「名前、呼称語」などの名詞は「D そんな N」構文に用いられるのに対し、「DN」構文で用いることはほとんどない。

(45) a. 玉枝はそんな喜助のうしろ姿をみてほっとした。(玉枝看着喜助的这种背影,放下心来了。) (水上勉,『越前竹人形』)

b. 杏子は梶の家庭について、これまで何一つ尋ねたことはなかった。自分の方も、何となくそれに触れるのがいやだったが、梶の方は梶の方で、まるで家庭など持っていないかのように、いっさいそんなことはしゃべらなかつた。杏子はそんな梶が好きだった。(关于梶的家庭, 杏子从来没问过一句, 不知为什么, 她不愿意主动触及这一点; 而梶大助也象根本没有家室似地绝口不提。杏子喜欢梶的这种态度。) (井上靖,『あした来る人』)

c. が、そんな八千代は梶には必ずしも不快ではなかつた。(但八千代这种作法并未引起他的不快。) (井上靖,『あした来る人』)

(46) 张金发说: “刘祥这种人老实巴脚的, 顺着他办事儿, 他跟他犯什么脾气。” (そらあ、劉祥みてえのはお人よしで言いなりだから、喧嘩にはなんねえ) (浩然,《金光大道》)

例(45)では、「そんな」は「名前」の前におき「そんな喜助、そんな梶、そんな八千代」となるが、中国語“这种”は用いない。例(46)のように、「名前」は“这种”の前に置き、“刘祥这种人”を用いる。

(47) a. あたしはそんなお爺さんの鼠は嫌いよ。(我讨厌这种老鼠爷爷。) (谷崎潤一郎,『痴人の愛』)

(48) b. そんな自分への関心の持ち方が、梶は快かつた。(这种周到的用心使梶感到很愉快。) (井上靖,『あした来る人』)

(49) 世界上有这样的父亲吗, 他不能给女儿带来钢琴, 他不能给女儿带来鲜花, 他连一个象样的洋娃娃也没给女儿买过。(そんな父親がこの世のどこにいる。娘に

ピアノはもとより、きれいな花も、可愛い西洋人形も買い与えたことはなかった。）

(王蒙,《活动变人形》)

また、N が呼称語の場合も、例(47)のように日本語は難なく用いられるのに対し、中国語は「D_{这种}N」構文を用いることが少ない。中国語の場合、例(48)が「D_{这样的}N」の使用傾向となる。

中日両言語における感情・評価的意味から観察される「DN」構文より、その特徴表現の使用傾向の違いをまとめると、次のとおりである。

- 1) 「DN」構文が感情・評価的意味に見られる場合、中日両言語は特徴表現①と③の使用傾向が近く、特徴表現②とはずれが生じる。
- 2) N が名前や呼称語の場合、「D_{そんな}N」文は難なく使用することができるのに対し、「D_{这种}N」構文は使用し難い。

5.2 主観性理論に基づく中日特徴相違の解釈

前文のまとめより、中日特徴相違の原因として二点のことが挙げられる。

一つは、「DN」構文が感情・評価的意味を表すとき、「D_{这种}N」構文と「D_{そんな}N」構文の使用制約が異なるということである。

胡清国・高倩艺(2018)は「間主観性」観点から、感情・評価的意味を表す指示詞句構文を考察している。例(50)で示した通り、例(50a)では貶義を表す“笨蛋”は例(50b)～(50d)での“教授、孩子、张三”より評価の度合いが高い。そのような名詞は直接認知度が低く、且つ、新情報であるため、参照体が目標となりうる。従って、「DN」構文にも自由に形成される。例(50b)～(50d)での“教授、孩子、张三”は、その直接認知度が高いため、目標になり難い。従って、評価を表すとき、「DN」構文に入る制限も高くなる。感情・評価的意味を表す際、「DN」構文は①“你—我”の対話枠組み②「参照体—目標体」構造という二つの成立条件に満たなければならないといえる。

- (50) a. 你这个笨蛋 你这笨蛋 你个笨蛋 你笨蛋 笨蛋
b. 你这个教授 你这教授 *你个教授 *你教授 教授
c. 你这个孩子 你这孩子 *你个孩子 *你孩子 *孩子
d. 你这个张三 ?你这张三 *你个张三 *你张三 *张三

(胡清国・高倩艺 2018:43)

- (51) a. *(你) 这种张三
b. ?你这张三
c. 你这个张三
- (52) a. *(你) 这种妈妈
b. ?你这妈妈
c. 你这个妈妈

例(51)(52)で示すように、専用名詞(名前)、総称名詞(呼称語)の場合、例(50bc)(52bc)の名詞自体は不定であり、指示詞に付加することによって定になる(方梅 2002)。しかし、例(51a)(52a)“这种”が名前、呼称語の場合、裸名詞自体を総称しており、「DN」構文によってまとめあげられた機能を最初から排斥することになる。故に、“这种”はその二つの成立条件に満たないため、「DN」構文ではない。さらに、「D_{这种}N」構文は「文脈融合」力が弱く、「間主観化」もない。

では、なぜ、“这种”を用いないのに対し、「そんな」は難なく使用することができるのだろうか。ここでは、話し手が指示対象を近いか遠いかといった認識の基準が中日両言語において異なっていること、すなわち言語の主観性がその原因の一つといえる。

新村ら(2012)は、日本語では話し手が対象を自分に近い現場に位置づけて、話し手領域の内に捉えているときコ系を使用している。また、指示対象を聞き手に近い現場に位置づけて、聞き手領域の内に捉えている場合をソ系で指示している。それに対し、中国語では話し手が現場で聞き手との共同注意の焦点になる際立ち度が高い指示対象と判断すれば这系で指し示している。つまり、日本語では話し手がその現場において聞き手も指示対象も位置づけていることに注目するのに対し、中国語では話し手が現場の指示対象の際立ち度とそれに基づく聞き手との共同注意の焦点化が容易に捉えられるかという点に関心をよせている。いずれも話し手の主観的な対象把握表現であるが、言語の違い(話す主体である話し手)によってその表出した指示対象の認知に違いが出てくる。

つまり、「D_{这种}N」構文では「指示詞」のみならず、際立ち度の高い表現のN1構文にマーカ一することによって、話し手の主観的感情を表出させている。しかし、「D_{そんな}N」構文は異なっているため、指示詞によってその場で話し手領域か聞き手領域かに位置づけければよいのである。

このように、中国語と日本語における指示詞使用制約をも話し手の主観性と大きく関わっていることがわかる。同じ構文だとしても、話し手の認識によって、その表出されているスタンスは異なっている。この点においても指示詞句構文は中日両言語表現の相違点で表されると考えられる。

6. おわりに

本研究は「这种、そんな」を主な調査対象とし、対訳コーパスを利用し、中日両言語における「DN」構文を考察した。分析する際、本研究は理想化認知モデルに基づき、感情・評価的意味が観察される「DN」構文の特徴を明らかにした上で、ずれとなるの部分を言語主観性の観点から考察した。考察結果は次の通りである。

- 1) 「DN」構文が用いられる際、多少感情・評価的意味が含まれている。特に否定的な感情・評価的意味を表す場合、両言語の使用傾向は非常に近い。
- 2) 「DN」構文が感情・評価的意味に見られる場合、中日両言語は特徴表現①「D+形容詞+N」と③「D+N_{人間名詞}」の使用傾向は近いが、特徴表現②「D+N_{事物名詞}」ではずれが生じる。
- 3) Nが名前や呼称語の場合、「D_{そんな}N」構文は難なく使用することができるのに対し、「D_{这种}N」構文は使用し難い。その原因は感情・評価的意味を表す「DN」構文の使用制約の違い、および中日指示詞の認識基準の違いと強く関連している。

さて、本研究では、「DN」構文の語順をどのように特徴づけるかに関して問題点が残っている。汎言語は特定な語順で並べているものの、異なる語順特徴によってその決まる要素も変わっていく(盛文忠 2014:76-82)。故に、他の成分と共起する「DN」構文の場合では、それぞれの特徴画像を描くにも関わらず、語順という点に絞っては、言語類型論的観点から意味分析と意味比較を行うことを今後の課題としたい。また、今回は「そんな、这种」の2つの指示形式を取り上げ、「感情・評価」の意味をめぐって考察したが、更に研究対象を広げ、検証していくことも課題としたい。

[参考文献]

- 池田晋(2012)「“这个+人名”と『この+人名』の現場指示用法について」『外国語教育論集』34,15-31.
- 河上誓作(1996)『認知言語学の基礎』,研究社出版.
- 鈴木智美(2006)「『そんな X...』文に見られる感情・評価的意味—話者がとらえる事態の価値・意味と非予測性—」『日本語文法』6-1,88-105.
- 鈴木智美(2008)「事態にたいする話者の期待と感情・評価的意味—理想化認知モデルの観点からの考察—」『東京外国語大学 留学生日本語教育センター論集』34,27-42.
- 新村朋美・単娜・鄭若曦・ハヤシブレンダ(2012)「日本語・中国語・英語の指示語表現にみるダイクシス構造の違い」『日本認知言語学会論集』12,349-361.
- 白晓光(2016)「人称代词与指示代词共现的汉语领属结构中各成分的功能定位—兼与日语对比—」『日本语言文化研究第4辑(下)』,373-386.
- 方梅(2002)「指示词“这”和“那”在北京话中的语法化」『中国语文』4,343-356.
- 胡清国・高倩艺(2018)「认知参照点与“你这个NP”构式」『汉语学习』02,44-54.
- 盛文忠(2014)『汉日语语序对比研究—基于语言类型学的考察—』,外语教学与研究出版社.
- 张伯江(2010)「汉语限定成分的语用属性」『中国语文』03,195-207.
- Lakoff,George(1987)『Women,Fire,and Dangerous Things:What Categories Reveal about the Mind』University of Chicago Press.

[付記]

本稿は陝西省社会科学基金(2015K027)、国家社会科学基金(17XYY028)による研究成果の一部である。